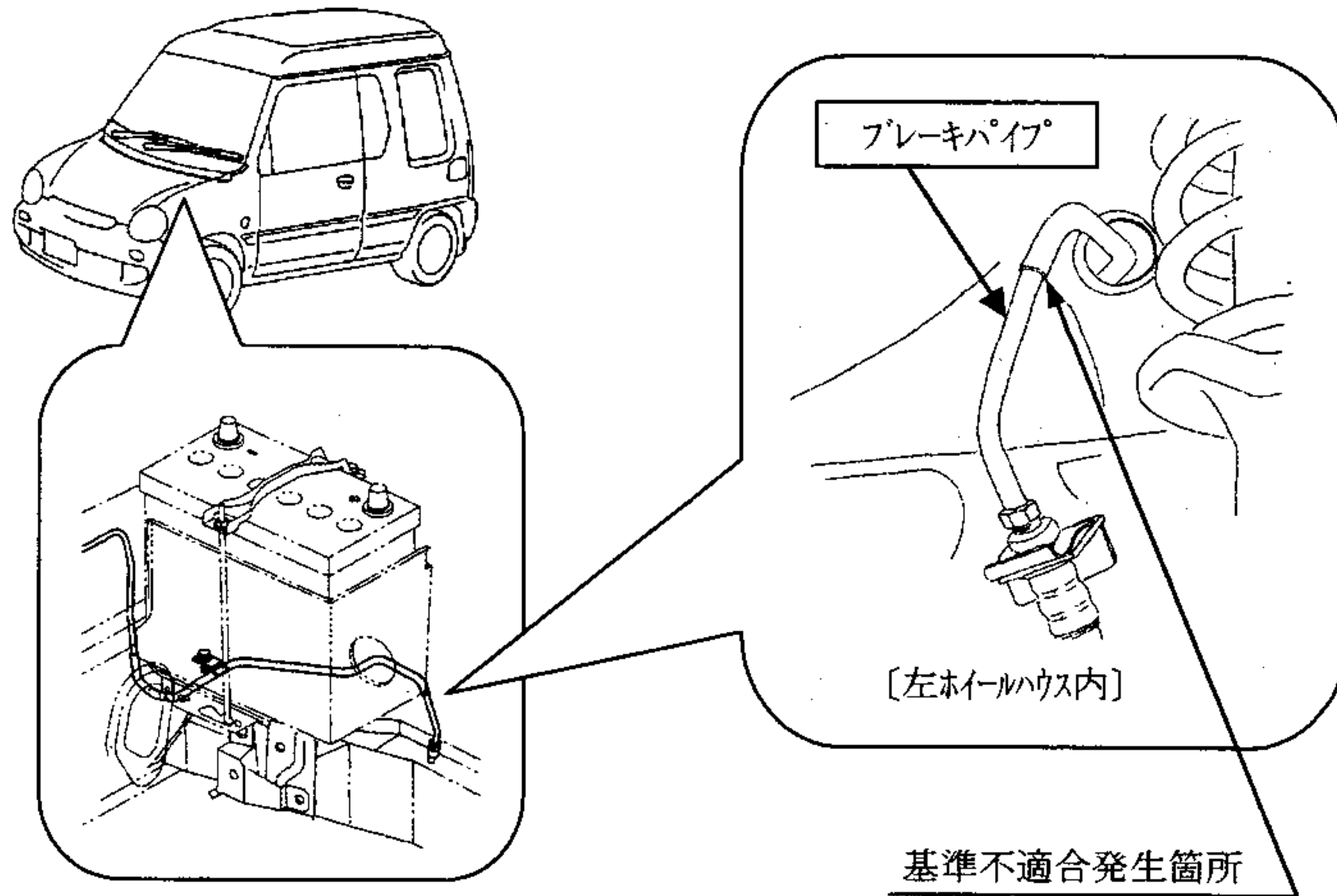


改善箇所説明図

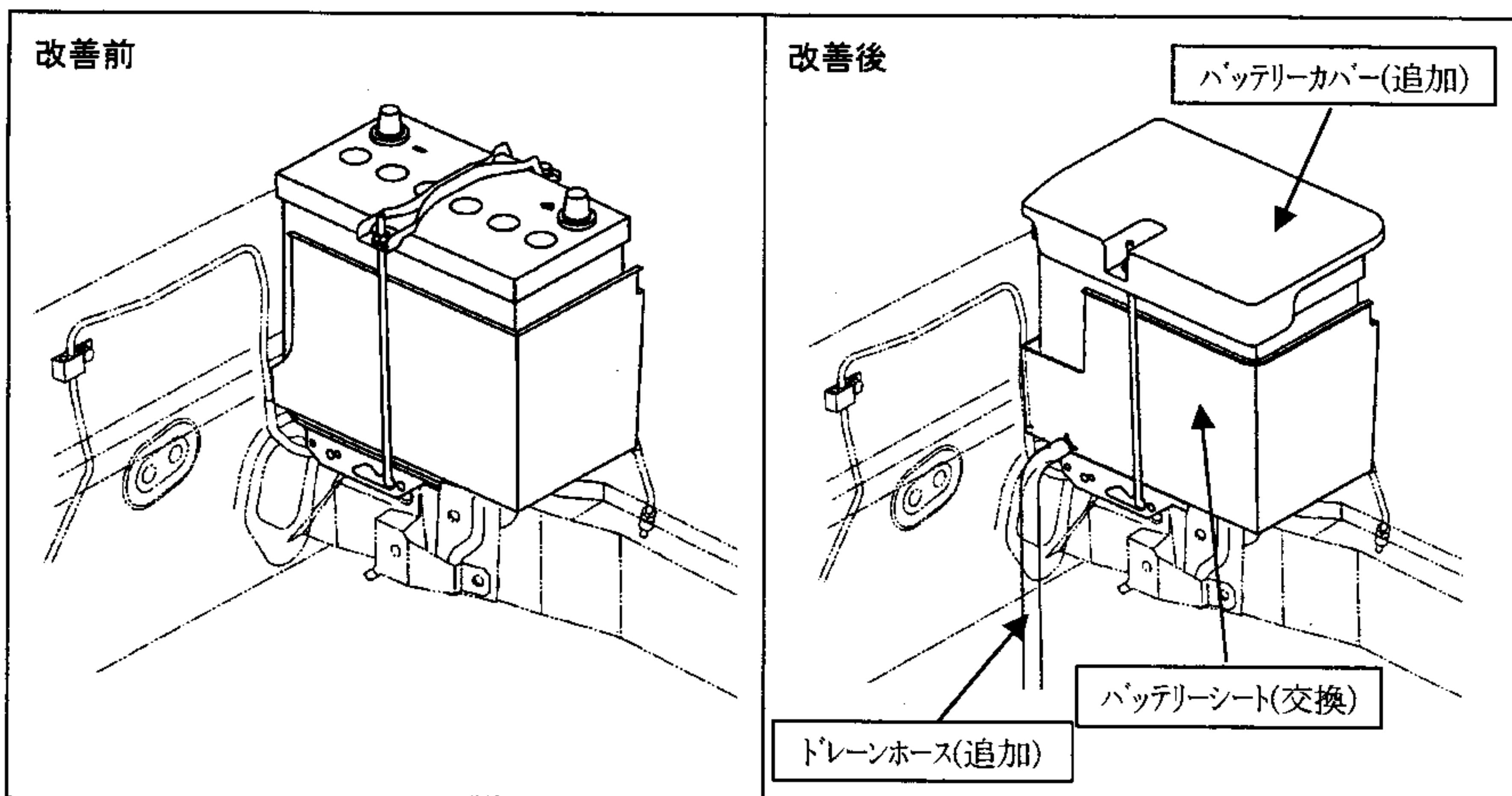


バッテリーの搭載位置が不適切なため、バッテリー上面に雨水等がかかり、液栓呼吸穴から雨水等がバッテリー内に浸入してバッテリー液量が増加し、溢れたバッテリー液が飛散して左前輪用のブレーキパイプにかかり、当該パイプが腐蝕してブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

全車両、バッテリーに雨水等浸入防止用のカバーを装着し、バッテリーシートにドレーンホースを追加した改良品に交換すると共に、ブレーキパイプを点検し、錆発生が認められるブレーキパイプは新品に交換する。

(対策品の供給に時間を要することから、当面の暫定処置として、全ての使用者に不具合内容を通知し、注意を促す。)



注): は追加部品および交換部品を示す。

識別: 外観上 バッテリーカバーの有無にて容易に識別が可能のため、特別な識別追加は行わない。